

## 新しい時代の学びを支える学習環境の整備の状況報告について

### 1. 質問事項

#### 「新しい時代の学びを支える学習環境の整備について」

##### 質問理由

近年、G I G Aスクール構想による1人1台端末環境のもと、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実により、学級単位で一斉に黒板を向いて授業を受けるだけでなく、個別学習やグループ学習を行うなど学びのスタイルが多様化しています。

しかしながら、学校施設においては、児童生徒の急増期における量的確保の観点から、廊下に面して普通教室や特別教室を単純に配置した片廊下一文字型の画一的な教室配置となっています。

また、特別支援学級に在籍又は通級指導を受ける児童生徒や不登校児童生徒は増加傾向にあり、これら多様な児童生徒への対応も求められています。

貴審議会におかれましては、今後、学びのスタイルが多様に変容していく中、教室そのものを含め、新たな時代の学びを支える学習環境の整備に係る基本的な考え方について、ご審議いただきたく質問します。

### 2. 審議経過

日	内容
1月28日（火）	令和6年度第5回学校教育審議会 ・新しい時代の学びを支える学習環境について ・視察及び審議スケジュール
2月14日（金）	現地視察 ・京都教育大学附属桃山小学校 ・京田辺市立田辺中学校（校内教育支援センター） ・京田辺市立教育支援センター
3月18日（火）	令和6年度第6回学校教育審議会 ・視察の報告 ・ワークショップ「学校視察・設備の課題や対策」 ・意見聴取
5月1日（木）～ 5月20日（火）	教員、児童生徒へ意見聴取 ・小中学校教員へアンケートとワークショップ ・小学4～6年生、中学1～3年生へアンケート
7月8日（火）	令和7年度第1回学校教育審議会 ・委嘱 ・状況報告

### 3. 審議について

# 趣旨

## ○社会の変化

- ・変化が早く、激しく、そして複雑で不確実で予測が難しい社会
- ・ICTのさらなる進展
- ・人生100年時代(マルチステージ)

→確かな学力、豊かな人間性、健やかな身体等、調和のとれた力である  
「生きる力」を育む必要があり、**新しい時代の学び**が求められている。

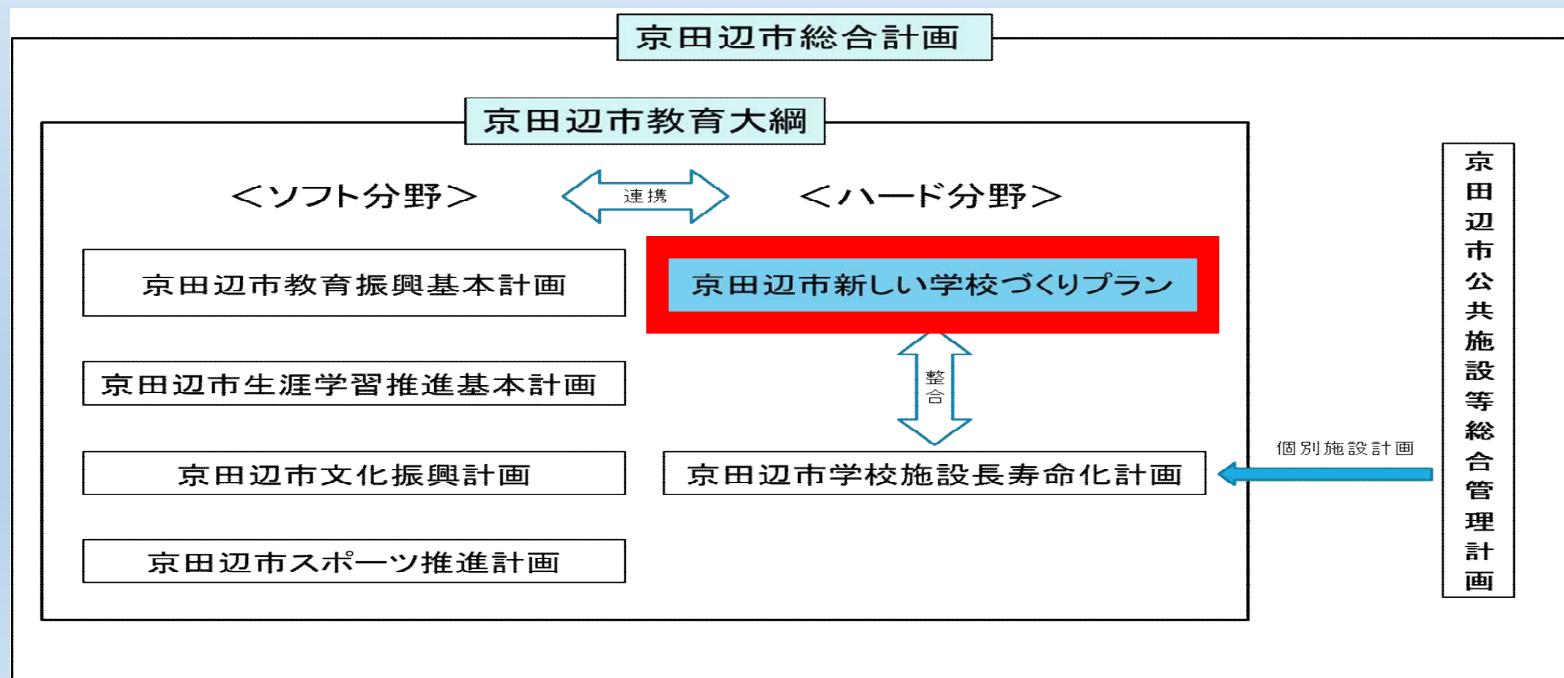
## ○学校施設

・老朽化しており、長寿命化工事等が必要  
→社会の変化に合わせて、学びのスタイルが多様に変容していく中、長寿命化  
工事等に合わせて新しい時代の学びを支える学習環境の整備が必要

学校教育審議会はこれからの学校施設整備の基本的な考え方を審議

# 審議内容の位置付けについて

- ・審議会の答申は、「生きる力」を育む学習環境を整えるための「京田辺市新しい学校づくりプラン」に反映
- ・学校施設のハード分野の整備は、京田辺市学校施設長寿命化計画と整合させ、計画的に工事を実施



## 審議の前提

- 京田辺市新しい学校づくりプランには、3つの柱がある。

- 1 学校規模・学校配置の適正化
- 2 新しい時代の学びを支える学習環境の整備
- 3 学校付属施設のあり方

- 前の諮問事項「京田辺市立学校間の児童生徒数の偏在の解消に向けた対策」は、良好な教育環境の確保のため、次の対策を行うこととしており、プランへも反映される。

第1期：学校選択制度の活用、新しい大規模開発地域等での通学区域の変更、  
(R8-R17)

新築される共同住宅の校区、学校の特色化の推進

第2期：第1期の期間中から児童生徒数の推移を注視し、偏在の解消や通学の安全等に配慮した  
(R18-R17)

上で、統廃合を含めた学校規模・学校配置の適正化をプラン(後期計画)で具体化

# 審議の前提

- ・新しい時代の学びを支える学習環境の整備に向けて審議すべき教育課題は主に3つ
  - ① 新しい時代の学びの実現
    - ・一人一人が輝く京田辺っ子の育成
    - ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
  - ② 多様な背景や特性のある児童生徒への対応
    - ・特別支援学級、通級指導教室の児童生徒の増加
    - ・医療的ケア児の増加
    - ・不登校児童生徒の増加
  - ③ 地域との連携
    - ・学校の教育力向上に向けた開かれた学校づくり

# 学校施設の状況(教室等)について

## 考えられる検討事項や課題

- ・ 話し合いや発表を行うなどを組み込んだ新しい時代の学びに柔軟に対応できる教室となっていない。
- ・ 教室内に物品が多く、狭くなっている。
- ・ ICTを活用した板書・投影スペースがない。
- ・ LED照明への変更が必要である。
- ・ 普通教室等の空調設備は耐用年数から更新が必要である。
- ・ 必要とされる特別教室はどのようなものか。
- ・ 図書室やコンピューター室の活用方法をどうするか。
- ・ 和式トイレの取り扱いの方向性をどうするか。
- ・ バリアフリートイレ及びエレベーターの設置をどうするか。
- ・ 児童生徒が落ち着くための空間が必要である。
- ・ 医療的ケアの実施に配慮された空間が必要である。
- ・ 不登校児童生徒への支援機能の充実が必要である。

# 視察について

## ●京都教育大学附属桃山小学校

- ・多様な学習空間に可変できる未来型教室



## ●京田辺市立田辺中学校

- ・校内教育支援センター
- ・既存校舎の状況



## ●京田辺市立教育支援センター(アイリス)

- ・教育支援センター

# 視察について

## 委員の意見(一部)

- ・附属桃山小学校の教室環境が非常にうまくできており、特に可動式の壁によって、学習空間である教室とサブ的な空間である廊下が一つの学びの空間としてうまく機能していた。空間の大きさを自由に変えられることで、個別学習、グループ学習、クールダウンスペース等にもなる。
- ・本市の場合、構造的に余地がなく、可動式の壁面やオープンスペースについては、大規模改修等が必要であり、長期的な視点で整備を考える必要がある。
- ・教員の授業の内容に応じて教室の整備、設備を整える。
- ・デジタルとアナログをハイブリット活用し、それぞれメリットを生かす。
- ・特性等に応じて学校施設の選択肢を増やすことがすごく大切である。
- ・特別支援教育の先進事例の取り込みが必要。
- ・クールダウンしたり、個別学習したりするスペースが、普通教室の近くにあって、行き来できるものがあると良い。
- ・パーテーションやソファ等の落ち着ける備品も必要である。色調や素材もソフトな感じで。
- ・不登校の子どもの居場所は、人目を気にせず登校できる場所での設置が重要。

# 意見聴取について

## ●児童・生徒

### ・アンケート

実施期間:令和7年5月1日(木)～5月20日(火)

対象:市立小学校4～6年生、市立中学校1～3年生

内容:児童生徒が、学校のよいところや直したほうがよいところについてアンケートを実施  
生活安全面(教室、図書室、特別教室、その他施設の良さ・悪さ、プール跡地)

## ●教員

### ・アンケート

実施期間:令和7年5月1日(木)～5月20日(火)

対象:市立小学校

内容:先生方が新しい時代の学びをどう捉え実践しているのか、それを推進するための  
学校施設・設備についてアンケートを実施  
3つの教育課題と生活安全面

# 意見聴取について

## ●教員

### ・ワークショップ

先に実施したアンケート結果を基に、新しい時代の学びを支えるための学校施設整備に向けて意見を重点化整理するもの

実施期間：令和7年6月13日(金)

対 象：市立中学校教員

実施期間：令和7年6月16日(月)

対 象：市立小学校教員